

令和7年 2月 12日

あなたが支える市民活動応援事業 補助金交付申請書

大分市長 足立 信也 殿

所在地 大分県大分市大字福宗 1679
団体名 アート村プロジェクト
代表者氏名 泊 麻未
電話 080-1787-9758
担当者名 XXXXXXXXXX
担当者連絡先 XXXXXXXXXX

あなたが支える市民活動応援事業補助金交付要綱第5条の規定により、次のとおり申請します。

記

1. 事業名 コミュニティカフェ×アート・文化体験を入口にした多世代の居場所づくり

2. 事業の概要 これまで、本団体では少子高齢化が進む野津原地域を中心に、アートやものづくりを通じた多世代交流のイベントを定期的を実施してきた。この活動により普段なかなか出会えないグレーゾーンの福祉対象者や、職域や団体を超えた地域のつながりを見出すことができた。令和7年度からは、このつながりを生かした持続可能な「居場所づくり」を実施し、より多くの市民にとっての居場所、コミュニティ支援、生きがい創出となる活動を目指す。

3. 事業費 555,000 円

4. 交付申請額 300,000 円

5. 概算交付 ☒概算交付を希望する。
☐概算交付を希望しない。

※ 概算交付を受けるには、過去に当該事業で補助を受けた実績が必要です。

6. 添付書類 (1) 団体調書(様式1-1、1-2)
(2) 事業計画書(様式2)
(3) 収支予算書(様式3)
(4) 団体要件・事業要件確認シート(様式4)
(5) 誓約書(様式5)
(6) 規約、会則、定款等の写し
(7) その他市長が必要と認める書類

- (i. 本制度に関する予算については、3月の第1回定例会での予算可決をもって決定されます)
(ii. この内容は、大分市ホームページ等で公表いたします。)

団 体 調 書

1 団体の概要

団体名	(ふりがな) あーとむらぶろじえくと アート村プロジェクト				
住所	〒870-1205 大分市大字福宗 1679				
代表者氏名	(ふりがな) とまり あさみ 泊 麻未		FAX (団体)	なし	
電話 (団体)	080-1787-9758		E-mail (団体)	localartproject123@gmail.com	
設立年月日	令和4年4月1日	ホームページ	有 ・ ☒ 無	団体構成員数	3人
活動の分野 ※別表参照	主分野 (1つ)	3	その他の分野	1・2・6	
連絡責任者 ※この申請について問い合わせをしたときに対応できる方	住所				
	氏名		FAX		
	電話		E-mail		
主な活動地域	☒ 市内全域 ☐ 大分中央 ☐ 大分東部 ☐ 大分西部 ☐ 大分南部 ☐ 南大分 ☐ 鶴崎 ☐ 大南 ☐ 植田 ☐ 大在 ☐ 坂ノ市 ☐ 佐賀関 ☒ 野津原 ☐ 明野				
団体の活動目的 ※簡潔明瞭に記入してください	少子高齢化が進む野津原地域において、地域に住まう人々のウェルネス向上させることと、野津原地域への関係人口を増やすことが目的。 多世代・多文化交流を実現させるための手段として、アートや民俗文化を用い、次世代の福祉のまちづくりを積極的実践していく。				
これまでの 主な活動実績	年度	事業名	実施回数	参加者数	
	令和6	アートやものづくり体験型マルシェ ～多世代交流アート村～	9回	576名	
	令和6	アウトリーチ「出張アート村」(育成クラブ、自治区 観光客受け入れサポート、公民館行事サポート等)	3回	150名	
	令和6	ゆるカフェ (コミュニティカフェ)	9回	50名	
これまでに補助 や委託を受けた実績	年度	補助(委託)元	補助事業名	金額	
	令和5年	大分市	あなたが支える市民活動応援事業	157,752円	
	令和6年	大分市	あなたが支える市民活動応援事業	157,884円	
	令和6年	野津原地区社会福祉協議会	令和6年度福祉活動団体助成金	50,000円	

2 活動計画書

事業の実施に関する事項

1 公益的活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	受益対象者の 予定人数 (延べ)	実施予定 回数 (延べ)	予算額 (千円)
コミュニティカフェ× アート・文化体験を入 口にした多世代の居場 所づくり	コミュニティカ フェ的居場所の 開放、地域の民 俗文化や伝統行 事体験イベント	令和7年 4月 から令和 8年3月 まで月に 2回程度	旧野津原 中部小学 校等地域 の施設等	150名	24回程度	555
小 計					24 (a)	555 (c)

2 その他の活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	受益対象者の 予定人数 (延べ)	実施予定 回数 (延べ)	予算額 (千円)
小 計					0 (b)	0 (d)

合 計	(a) + (b) 24	(c) + (d) 555
-----	-----------------	------------------

カテゴリーごとの公益的活動の割合 ※小数点以下は四捨五入してください。	(a) / (a) + (b)	(c) / (c) + (d)
	100% (A)	100% (B)
全活動に占める公益的活動の割合 {(A) + (B)} ÷ 2 × 100 ※小数点以下は四捨五入してください。	100%	

事業計画書

事業名	コミュニティカフェ×アート・文化体験を入口にした多世代の居場所づくり	
事業内容	主な対象者	大分市内のこどもからお年寄りまで、多世代
	内 容	日常的な福祉の支援に向けて、野津原の自然環境を活用した「コミュニティカフェ」を月2回程度実施。持続可能な運用を行いながら、不定期でアートや文化をまんやかに置いた交流イベントも同時開催する。 例) アートワークショップ、季節の行事(もちつき、お田植え等)、音楽鑑賞、野津原散策、料理教室 等
事業スケジュール ※別紙添付可	時期(月) 4月 4月～3月 3月	内 容 運営メンバー打ち合わせ 月2回程度のコミュニティカフェオープン(合計24回程度) 活動のまとめ、フィードバックなど
広報計画・方法 ※参加市民等の受益対象者の増加に向けた具体的な広報計画等	☐ ホームページ ☐ チラシ、広報誌 ☒ facebook等のSNS ☒ その他(具体的に) ラインのグループなど ・大分市内の小・中・高校にチラシ配布 ・新聞やメディアに取材依頼 ・各大学とも協働し、学生の参加を募る ・こども団体や福祉団体へ呼びかけを行う ・地域で行われている部活動へも声をかける(部活動地域移行への協議)	
自己収益金の拡大に向けた取り組み ※自己収益金とは会費収入、事業収入や寄付金収入等であり、補助金や交付金による収入は含まれません	・イベント時に体験料を徴収し、体験ブースの出店者が自走できる仕組みにする。 ・上記の広報計画により、参加者増を目指し、参加費等の事業収入を増やす。 ・団体での受け入れも可能にし、受け入れに係る費用を徴収する。	
見込まれる効果 ※地域にどのような効果をもたらすのか、また市民福祉の向上にどのようにつながるのか	・アートやものづくり、カフェを入口にすることで、多くの世代を巻き込むことができ、市民福祉に取り組む人口の増加にもつながる。 ・様々な団体において、野津原地域や旧校舎を舞台にした体験活動は貴重なフィールドワークになりえる。 ・少子高齢化が進む地域において、地域が主体となりイベントを実施することで生きがい対策や健康寿命の向上にもつながる。 ・大分の文化や歴史に若い世代が直接触れることになり、郷土愛を深めることができる。	
新規事業・継続事業の別	※申請事業について、該当する□にチェックしてください。 ☐ ① 1%応援事業の交付申請をするのは初めてである。 ☒ ② 以前に1%応援事業の交付申請をしたことがある。	

収支予算書

事業名：コミュニティカフェ×アート・文化体験を入口にした多世代の居場所づくり

1 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
補助金収入	300,000	あなたが支える市民活動応援事業補助金
会費収入	0	
事業収入	186,000	カフェ原材料費 (100円×15人)×24回=36,000円 イベント体験料 (500円×30人)×10回程度=150,000円
寄附金収入	9,000	
その他	60,000	野津原地区社会福祉協議会 団体福祉活動助成金
合計	555,000	

2 【支 出】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
報償費		
旅費		
消耗品費	55,000	コピー用紙、文具類、事務用品類
燃料費	30,000	機材、車両等の燃料費、イベント会場で使用するガス代、草刈り機、発電機の燃料費等
食糧費		
印刷製本費	30,000	チラシ印刷費
通信運搬費		
広告料		
保険料	50,000	イベント・レクリエーション保険
手数料・委託費	270,000	広報関係委託 80,000円 音響、会場設営等委託 190,000円
使用料・賃借料	20,000	会場利用料
原材料費	100,000	イベント等で使用する食材費
備品購入費		
合計	555,000	

備考 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。

なお、実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。